

事業所名

勝原PeCoアフター

放課後等デイサービス・支援プログラム

作成日

2025年

3月

10日

法人（事業所）理念		子どもの最善の利益を考慮し、未来に邁進する子どもの健全な心身を育成する。						
支援方針		子どもたちが笑顔で、未来を描き、羽ばたき、個性豊かに生きてゆくことを目指し、その基礎を保護者と協働のもとに築きます。専門職（公認心理師・作業療法士）がそれぞれの目で課題を洗い出し、調整をしたうえで、チームとしてお子さんと向き合います。小集団活動を中心に、必要に応じて個別療育も行います。家庭、学校以外の居場所として、安心安全に過ごせる環境を作ります。						
営業時間		月～金	14時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	来所時のみ送迎あり 帰宅時は送迎なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	ご家庭と連携し、健康状態の維持・向上に努めます。身だしなみや食事マナー等、生活上のスキルを習慣化します。放課後、お子さんが安心して過ごせる場所を提供します。持ち物の整理、道具や遊具の準備、後片付けなど、環境の整備を自立的に行えるよう支援をします。絵カードによるスケジュール表示など、予定を分かり易く伝えます。						
	運動・感覚	体幹・協調・ジャンプ・ボール・粗大運動を軸として様々な運動プログラムを準備し健康な体作りをサポートします。遊び感覚のなかでボディイメージの確立を目指し、体の上手な使い方や日頃使わない筋肉の強化などに繋げていきます。ハテナボックスや背中に字を書くなど、五感を刺激する遊びを通し、感覚過敏や感覚鈍麻の調整を行いながら、バランス感覚や空間認識を養います。音楽に合わせたリズム遊びでは、リズム感と協調性を養います。						
	認知・行動	パズルや記憶力ゲームなどを通じ、認知スキルの向上を目指します。ポジティブな行動支援で望ましい行動を促し、安心できる環境を提供します。スモールステップで達成感を味わっていただき自信に繋げていきます。認知の偏りから来るこだわりや偏食等に対する支援を行います。						
	言語 コミュニケーション	自分が発した言葉に相手が反応してくれたり、相手の意向に応じて行動することで相手が肯定的な対応をしてくれる、という体験を重ね、コミュニケーションの楽しさを感じられるよう支援をします。自分のしてほしいことや、手伝ってほしいときに援助を求めるなど、生活の中で必要な行動を、適切な場面で発揮できるよう支援をします。日常会話スキルの向上や語彙力向上を目指すとともに、表情やアイコンタクトなど、言葉以外のコミュニケーション方法にも触れていただきます。						
	人間関係 社会性	SSTや小集団活動を通して、順番を守る、ルールを守る、友だちと協力する、失敗や負けを受け入れるといった、他者と一緒に生活していくために必要なスキルを身に付ける機会を作ります。相手との折り合いの付け方をお子さんと一緒に考えます。適切な友達との関わり方に関して、見本を見せたり助言をするなどし、肯定的な関わりが増えるよう支援をします。						
家族支援		その日の療育の内容や結果をその日のうちにフィードバックし、お子さんの成長や課題を共有しています。マジックミラー越しにお子さんの様子が見える見学室を備えています。定期的な面談（6月に1回以上）で最新情報や支援方法の共有を行います。				移行支援		必要に応じて、学校でのお子さんの様子を見学したり、学校の先生とお子さんの様子や支援方法について、情報共有したりします。
地域支援・地域連携		お子さんの通っている他の発達支援事業所などと情報共有するなどして連携を図ります。				職員の質の向上		日々のミーティングの中で現在の支援方法について検討し、全職員が同じ支援ができるよう統一します。障害特性や支援方法の習得など、研修を重ねます。外部研修への参加も奨励します。
主な行事等		キッズ・アフター合同での家族交流会を開催します（年3回予定）。同時に、保護者の方々が交流し情報交換や情報共有ができる機会を設けます。						